



立て心よ 行け私よ

No. 7

文責: 齊藤 正一

第 33 回墨坂祭 Discover～君とまだ見ぬ世界へ～

【開祭式: 校長先生のお話より】

わしは墨坂中学校校長であるが、実を言うと、それは世を忍ぶ仮の姿でな、わしの分身なんじゃ。本当の正体は、そうだ、1年生はきっと覚えているじゃろう。この歩き方でな。では1年生、本当の姿を「せーの」で、言っておくれ。「せーの」そうなんじゃ。わしは実を言うと、「火の神」なんじゃよ。これが証拠じゃ(写真)。

いつぞやかは、「妙高山に住む火の神」じゃったが、最近引っ越してな。須坂市を一望できる「根子岳の火の神」に就任したのじゃ。今日は、墨坂中学校生徒会の最大行事「墨坂祭」が行われるという知らせを、わしの元通訳から聞いて、根子岳から大急ぎでやってきたんじゃ。1年生、また、会えてうれしいぞよ。あれからずいぶん中学生らしくなり、墨坂中のたくましい土台となっているそうじゃな。2年生、とにかく元気で墨坂中の太い柱となって支えてくれているそうじゃな。3年生、墨坂中学校の顔として機関車として、計画から準備から墨坂祭を引っ張ってきてくれたそうじゃな。いよいよ、本番じゃ。

墨坂祭の「さい」は「まつり」とも読むんじゃ。古来から『祭』は仲間との絆を深め、人との結びつきを強くしてきたんじゃ。人間達はそんな『祭』をどの地域でも大切に生活してきたんじゃ。みんなで力を合わせて、無病息災や豊作を祈り、土地の恵みに感謝し、お祝いしてきたんじゃ。その度にわしは火の神として呼ばれて忙しいんじゃがな。君たちの「墨坂祭」は♪「ああ墨坂 我らが母校」その結束の表現の場であり、君たち一人ひとりの思いや願いを発信する場でもあるんじゃ。今年は4年前のように来賓の方々や保護者の皆様始め、多くの方々がご来校なさるしな。

第 33 回墨坂祭テーマ「Discover～君とまだ見ぬ世界へ～」を具体的な姿で示すんじゃぞ。わしは君たちの活躍を大いに期待しておるぞ。

では、始めるんじゃ。♪「進め君らしく 心踊る方へ」 イエーイ

では、とりあえず、わしは根子岳に帰らしてもらうぞ。

後は、わしの分身の校長が見届けるでな。さらばじゃ。



【第 33 回墨坂祭ポスター】



【学校長談】今年は、生徒会企画の寸劇の中に、「校長の話」が組み込まれていたために、そののりに多少は合わせた話にしたつもりでしたが、いかがだったでしょうか？



【開祭式】今年の墨坂祭には、「ナツコ」さんが登場。根子岳から火の神も登場しました。そして、声高らかな開催宣言で墨坂祭がスタート。



【広島平和学習】広島で、見たこと、聞いたこと、感じたこと、思ったこと、考えたことを真摯に発表しました。



【生徒会企画 Opening of Youth】おだんごガールズ、Ablaze、SAKANAの3組が発表しました。普段の学校生活の中ではなかなか見ることのできない、仲間の活躍の姿を見ることができました。



【科学部】炎色反応の発表では、去年とは違う見せ方の工夫がありました。情報センターでの活動の紹介に続き、空気砲の実演もありました。



【合唱部】澄んだ歌声が、メセナホールいっぱいに響きわたりました。合唱部としてだけでなく、クラスや学年の合唱もリードする大活躍でした。



【吹奏楽部】今の墨坂中学校らしく、明るく、楽しく、元気いっぱいの演奏でした。



【天明五閑太鼓】メンバーが墨坂中学校に在籍しているのは、今年が最後だそうです。2日目のオープニング、力強い太鼓の響きでスタートです。



【正門アーチ】今年も、きれいなアーチができました。色紙の一枚一枚に一人一人の、「全力で楽しんで最高の思い出にする」などの願いが書かれています。

。



【音楽会】

学級合唱では、今この時に、このメンバーでしか歌えない、唯一無二の歌声を披露することができました。審査の結果はそれぞれですが、みんなで取り組んできたことの価値は絶対です。今年は、学級合唱と3学年合唱に加えて、1，2学年それぞれの学年合唱と全校合唱、そして、PTAコーラスも復活し、フル規格の音楽会でした。





【美術部】

ステージバックと個人制作。今年も充実した作品が披露されました。



【ゲームフェスタ】

今年のゲームフェスタは、玉入れ、応援合戦、8の字大縄、リレーで競われました。それぞれが全力で取り組む姿に、自然と応援の声も大きくなっていきました。

暑さも心配されましたが、熱中症や大きなけがもなく、運営されました。



【閉祭式】閉祭式では、表彰の後、お互いがDiscoverしたことを発表し合いました。そして、100日にわたり準備をし、2日間にわたり開催された墨坂祭は閉祭となりました。